

令和 3 事業年度における業務の実績及び第 4 期中期目標期間の終了時に 見込まれる業務の実績に関する自己点検評価・外部評価について

令和 4 年 7 月 6 日
独立行政法人日本学術振興会

独立行政法人日本学術振興会（以下「JSPS」という。）では、自己点検評価・外部評価を実施することによって、業務運営等の問題点を見出し、法人自らが「改善」を行い、効率的・効果的な業務運営の実施を可能としている。

結果は独立行政法人通則法第 3 2 条第 2 項に基づき、文部科学大臣へ提出するとともに公表している。

1. 自己点検評価

自己点検評価実施要領を定め、中期目標に定められた項目ごとに自己点検評価を実施。その際、「国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」の各項目については、評定を付す際の参考とするため、より細分化した単位（補助評価単位）で評価を実施。

評価手順	1) 各部において業務の実施状況等を検証し、自己点検評価報告書（案）に関係資料を添えて、計画・評価委員会に提出 2) 計画・評価委員会では、各部からの評価結果の報告を受け、自己点検評価を実施し、報告書を作成 3) 必要に応じて監事からの意見を聴取し、自己点検評価結果に反映
委員会の開催	・令和 4 年 4 月 25 日（月） 計画・評価委員会（第 1 回）
自己点検評価結果の報告	自己点検評価報告書に関係資料を添えて、外部評価委員会に提出

2. 外部評価

有識者で構成される外部評価委員会において、外部評価を実施。

評価手順	1) 外部評価実施要領を定め、評価方針を決定 2) 自己点検評価報告書等によるヒアリングを実施 3) 外部評価（案）の作成 4) 外部評価結果の審議 5) 外部評価結果の総括 6) 外部評価報告書の提出
委員会の開催	・令和4年5月18日（水）外部評価委員会（第1回）（Web会議） ・令和4年6月2日（木）外部評価委員会（第2回）（Web会議） ・令和4年6月16日（木）外部評価委員会作業チーム（Web会議）※ ・令和4年6月21日（火）外部評価委員会（第3回）（Web会議）
外部評価結果の報告等	外部評価報告書を理事長へ提出
外部評価委員名簿	射場 英紀 トヨタ自動車（株）CPE（チーフプロフェッショナルエンジニア） 片岡 幹雄 奈良先端科学技術大学院大学名誉教授 巽 和行 名古屋大学名誉教授 辻 篤子 中部大学特任教授 古瀬 奈津子 お茶の水女子大学名誉教授 観山 正見 岐阜聖徳学園大学学長（五十音順 敬称略）
外部評価委員作業チーム名簿	青山 伸一 公友監査法人公認会計士 新保 博之 新保博之税理士事務所公認会計士 辻 篤子 中部大学特任教授 観山 正見 岐阜聖徳学園大学学長（五十音順 敬称略）

※令和3年度日本学術振興会の評価等に関する有識者会合におけるご指摘を踏まえ、外部評価委員会の下に、外部の専門家による作業チームを新たに設置し、自己点検評価の内容について専門的な視点で確認を行うこととした（別添参照）。

作業チームでは、JSPSの予算配分のスケジュール、令和3年度運営費交付金の執行状況、令和3年度財務諸表、令和3事業年度及び第4期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する自己点検評価・外部評価報告書（案）等に関する資料・説明を基に審議が行われた。主な議論の内容は以下の通り。

- 独立行政法人における管理会計は、予算の執行管理を適切に行うということである。また、独立行政法人の会計基準で求められているのは、運営費交付金を適切に配分して執行し、効率化に努めることである。今回の作業チームの審議で、そのプロセスが適切であると確認した。
- 大学等とは違い、JSPS は資金配分機関であり、国から配分された予算を適切に執行できているかを説明できるかが重要であり、今回、その説明ができていることを確認した。
- 令和3事業年度及び第4期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する自己点検評価・外部評価報告書について、評価書の記載について専門的な視点で確認を行った結果、特段変更や修正を行う必要がなく妥当であることを確認した。
- 今回初めて会計の専門家に加わっていただいたことは、心強いものであった。作業チームの実施形式について、今年度と同様の形式で来年度も実施するのであれば、JSPS で持つデータや情報、作業スケジュールを踏まえると、今年度のようなものが限界だろう。
- 今回は試行的に作業チームを立ち上げたものと認識している。管理会計的視点での予算執行について確認することは重要であるが、JSPS において、どのような形式で確認することが適当なのかは、親委員会である外部評価委員会でも議論し、より良い方法について検討することが必要だろう。

3. 提出

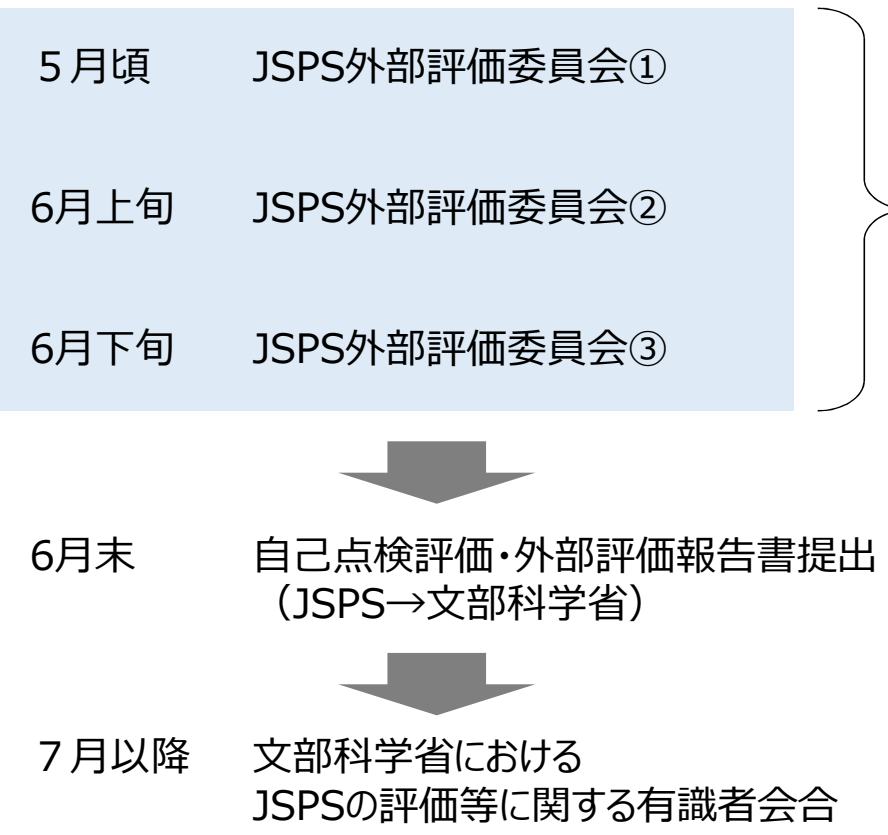
外部評価委員会からの報告を受け、法人としての最終的な評価を理事長が決定し、文部科学大臣へ提出するとともにホームページで公表。

日本学術振興会（JSPS）の外部評価体制について

対応概要

- JSPS中期計画（H30.4～R5.3）において、「毎年度、自己点検評価を実施するとともに、学界や産業界などを代表する有識者による外部評価体制を整備し、管理運営や各事業の実施状況等について、効率及び効果の両面から評価を行う。また、その結果については、業務運営の改善に反映する。」とされている。
- これに基づき、現在、以下の6名による外部評価委員会を設置しているところ。（任期：R3.5.1～R5.4.30）
- 令和3年度JSPSの評価等に関する有識者会合における委員からの御指摘を踏まえ、同委員会の下に外部の専門家による作業チームを新たに設置し、自己点検評価の内容について専門的な視点で確認を行う。

スケジュール



外部評価委員会の体制等

